

## 第 32 回日本・カナダ次官級経済協議 共同報道発表（仮訳）

2022 年 12 月 23 日（日本時間）、日本は第 32 回日本・カナダ次官級経済協議（J E C）をオンラインで主催した。

本協議では、小野啓一外務審議官及びロブ・スチュワート・グローバル連携省国際貿易担当次官が共同議長を務めた。山野内勘二駐カナダ日本国大使及びイアン・マッケイ駐日カナダ大使のほか、両国政府関係者が参加した。

日本側は、インド太平洋地域におけるプレゼンス、関与、影響力の強化に対するカナダの強いコミットメントを示すものとして、カナダのインド太平洋戦略の発表を歓迎した。本戦略は、本年 10 月のジョリー外相訪日時に両外相が発表した自由で開かれたインド太平洋に資する日・加アクションプラン（Japan-Canada Action Plan for contributing to a free and open Indo-Pacific region）とも軌を一にするものである。両共同議長は、両政府が同アクションプランの実施及び J E C の優先協力分野の更なる推進にコミットしていくことで一致した。

両共同議長は、ハイレベルの交流は二国間及び地域の経済協力の拡大に重要な役割を果たすことを強調した。フランソワ＝フィリップ・シャンパーニュ・カナダ革新・科学・産業大臣は、安倍晋三元総理大臣の国葬参列のための訪日を含め、2022 年の 1 年間で 3 度訪日した。また、メアリー・イン・カナダ国際貿易・輸出促進・小規模ビジネス・経済開発担当大臣による女性起業家のビジネス支援のための訪日は、両国の女性ビジネスリーダー間のパートナーシップを活性化させた。

また、両共同議長は、日本が 2023 年に G 7 議長を務めるにあたり、ウクライナにおけるロシアの違法かつ不当な侵略戦争及びその世界的な影響に関する目的やアプローチにおける継続的な結束を含め、G 7 で引き続き緊密に共働していく意欲を確認した。

両共同議長は、第 12 回 WTO 閣僚会議（MC12）の成功を歓迎し、ルールに基づく多角的貿易体制を維持し、更に強化していくことで一致した。また、第 13 回 WTO 閣僚会議までに有意義な進捗を得るために、MC12 の成果を早急かつ実質的に履行することにコミットした。

両共同議長は、環太平洋パートナーシップに関する包括的かつ先進的な協定（CPTPP）の経済的及び戦略的意義を再確認した。また、過去 3 年間に於いて同協定がインド太平洋地域及びそれを越える地域における自由貿易、開かれた競争的な市場、経済統合の促進に成功してきたことに加え、同協定が両国間及び地域の貿易に与えてきた変革を

もたらす効果を歓迎した。両共同議長は、同協定の着実な実施と、同協定の目的にコミットし、そのハイスタンダードを完全に満たしかつ遵守することができ、貿易に関するコミットメントを遵守する行動を示してきたエコノミーに同協定が拡大することを確保するために、引き続き緊密に協力する意向を確認した。さらに、両共同議長は、経済的威圧及び不当な制限的貿易慣行が、同協定の目的及びハイスタンダードに反することに留意した。

両共同議長は、国連気候変動枠組条約第 27 回締約国会議（C O P 27）の-marginにおいて合意された日加閣僚級環境政策対話の設置及び 2022 年 12 月 7 日から 19 日にモントリオールで開催された生物多様性条約（C B D）第 15 回締約国会議（C O P 15）における成果を歓迎した。

両共同議長は、2022 年 9 月 19 日に「課題多き時代における真のパートナー」をテーマとしてトロントにおいて開催された日本・カナダ商工会議所協議会（Japan-Canada Chambers Council：J C C C）による共同声明の発出に謝意を表明した。同協議会では、ルールに基づく多角的貿易システムにおける日加協力の重要性が強調された。また、J E C は、J C C C が打ち出した優先事項、特にサプライチェーンの強靱性、エネルギー、アグリ・フード、インフラ投資などの分野についても議論した。

両国は、J E C の優先協力分野に関する以下の進捗を歓迎した。

#### 【エネルギー】

- 多様で安全なエネルギー供給、特にエネルギー安全保障を強化するための LNG 投資支援の必要性の認識
- アンモニア・水素の生産及び原子力における民間セクターの関与と関心を含む、日本とカナダの官民エネルギー協力の継続的な推進
- 日加エネルギー政策対話を通じた、二国間関係の再活性化
- カナダの重要鉱物のバリューチェーン及びカナダにおける付加価値のあるバッテリーのサプライチェーン開発に関する日本の民間セクターの参加と関心の拡大
- 重要鉱物の供給における、地域の需要への対応と脆弱性の低減に資する協力

## 【インフラ】

- インド太平洋経済圏との貿易の多様化と強化を支援する国家貿易回廊基金及び国家サプライチェーン戦略を通じた国内の貿易環境を整備する交通インフラへの重要な投資の継続により、的を絞った行動を通じたサプライチェーンの強靱性の確保に対するカナダのコミットメント
- FinDev Canada の能力拡大及びインド太平洋地域全体のインフラ・プロジェクトにおけるカナダの民間・公的セクターの拡充・活用・協力の追求を通じた、インド太平洋地域における質の高い、持続可能なインフラ支援へのカナダのコミットメント
- カナダのインフラ・プロジェクトへの日本の参加を想起しつつ、日本の民間セクター及び海外交通・都市開発事業支援機構（JOIN）による、カナダにおけるインフラ改善努力への更なる貢献の可能性の促進

## 【科学・技術・イノベーション】

- 2022 年に開催された日カナダ科学技術協力合同委員会（C J J C）を受けた行動計画に係る調整継続
- 2022 年 11 月に開催された人工知能に関するグローバル・パートナーシップ（G P A I）年次総会の議長国としてのG P A Iの初代議長国であるカナダによる支援と知見を得、日本の役割及び日本の「責任あるA I」の開発・利用促進のコミットメント
- カナダ国立研究機構（N R C）と産業技術総合研究所（A I S T）、N R Cと科学技術振興機構（J S T）の高齢化社会に向けた共同研究での連携強化
- インド太平洋戦略の下で発表された新たな資金による、日本との科学・技術・革新パートナーシップ強化及び共同イノベーションプロジェクトや商業化志向の研究開発を支援するカナダのコミットメント

### 【観光・青年交流】

- C O V I D-19 関連の水際緩和措置を受けて、10月下旬にモントリオールで開催されたカナダ最大規模の旅行博における、日本政府観光局（J N T O）トロント事務所による訪日旅行の推進
- 二国間の青年文化交流を促進、人と人とのつながりの強化を目的とした日本のワーキング・ホリデー・プログラム及びカナダの国際体験プログラムを通じた、日加間のワーキング・ホリデー・アレンジメントの下での二国間の青少年交流の再活性化
- 日本・カナダ間の産官学連携を強化し、その潜在力を最大化するべく、二国間の青少年交流の推進継続

### 【ビジネス環境の改善と投資促進】

- カナダへの更なる投資に向けた相互理解の増進
- A I や量子技術などの最先端技術を持つ日本とカナダのベンチャー企業の活発な連携及びベンチャー企業の拡大・連携促進のための J E T R O による支援
- カナダで開催される食品見本市や業界イベントにおける日本の高級食材や酒類の促進

### 【農業】

- 日本の食料安全保障に対するカナダの極めて重要な役割及びカナダによる食料と肥料の安定供給に向けた継続的な協力への認識

（了）